



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月3日

上場会社名 東邦ホールディングス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8129 URL <http://www.tohohd.co.jp/>
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)濱田 矩男
 問合せ先責任者 (役職名)取締役財務部長 (氏名)荻野 守 (TEL)03-4330-3735
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	898,889	4.2	10,432	22.2	15,102	15.7	9,134	16.3
25年3月期第3四半期	862,368	3.0	8,539	50.1	13,051	23.8	7,852	17.2

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 9,508百万円(11.0%) 25年3月期第3四半期 8,567百万円(28.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	122.95	122.92
25年3月期第3四半期	107.58	—

(注) 当社は、26年3月期第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行ったため、25年3月期第3四半期について、当該表示方法の変更を遡及適用した組替え後の数値及び対前年同四半期増減率を記載しております。組替え前の営業利益は10,645百万円であります。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	618,080	146,467	23.7
25年3月期	562,668	134,272	23.9

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 146,448百万円 25年3月期 134,272百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
26年3月期	—	10.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

26年3月期第2四半期配当金の内訳 記念配当 2円00銭 普通配当 8円00銭

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,181,000	3.6	14,700	△7.4	20,400	4.2	11,600	0.6	155.45

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 当社は、26年3月期第1四半期連結会計期間より表示方法の変更を行いました。25年3月期について組替え後の数値に基づき算出した場合、通期の営業利益の対前期増減率(△7.4%)は11.8%と表示されます。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 — 社 (—)、除外 — 社 (—)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

26年3月期3Q	78,270,142株	25年3月期	78,270,142株
② 期末自己株式数	2,880,975株	25年3月期	7,690,841株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	74,293,064株	25年3月期3Q	72,993,754株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における医療用医薬品市場は、前年同期比2.7%（クレコンリサーチ&コンサルティング株式会社推計）の伸長となりましたが、当社グループは中期経営計画「全ては健康を願う人々のために14-16」の達成に向けて、当社医薬品卸売事業においては当社独自の顧客支援システムを競争優位として、新たなサービスメニューを提案するなど、提案型の営業活動を強力に推進した結果、市場平均以上の伸長をすることができました。

その結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高898,889百万円（前年同期比4.2%増）、営業利益は10,432百万円（前年同期比22.2%増）、経常利益は15,102百万円（前年同期比15.7%増）、四半期純利益は9,134百万円（前年同期比16.3%増）となりました。

なお、従来「営業外費用」の区分に表示しておりました「仮払消費税の未控除損失（控除対象外消費税等）」につきましては、第1四半期連結会計期間より「販売費及び一般管理費」の区分に表示する方法に変更致しました。そのため、前年同期比較にあたっては、前年同期数値について組替え後の数値に基づき算出しております。

セグメントの業績の概略は以下のとおりです。

医薬品卸売事業では、適正利益を確保するための価格ロックシステムを厳格に運用し、総価取引・薬価差問題等の是正や未妥結・仮納入などの流通課題の改善にも取り組みました。また、Meissaおよび顧客支援システムによるフィービジネスの拡大と経費節減にグループ全社で取り組みました。その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は864,778百万円（前年同期比4.1%増）、セグメント利益（営業利益）は9,269百万円（前年同期比21.2%増）となりました。

調剤薬局事業では、新規出店費用と薬剤師採用による経費増もありましたが、新規出店等による順調な拡大もあり、当第3四半期連結累計期間の売上高は64,214百万円（前年同期比7.2%増）、セグメント利益（営業利益）は1,032百万円（前年同期比11.2%増）となりました。

治験施設支援事業におきましては、受託が順調に推移した結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は389百万円（前年同期比43.9%増）、セグメント利益（営業利益）は235百万円（前年同期比123.4%増）となりました。

情報機器販売事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,055百万円（前年同期比9.2%増）、セグメント損失（営業損失）は17百万円となりました。

（注）セグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて10.3%増加し、452,696百万円となりました。これは、受取手形及び売掛金が33,575百万円、商品及び製品が14,945百万円それぞれ増加し、現金及び預金が8,659百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて8.5%増加し、165,383百万円となりました。これは、有形固定資産が15,160百万円増加し、無形固定資産が1,480百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて9.8%増加し、618,080百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて8.5%増加し、426,962百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が40,805百万円増加し、未払法人税等が5,173百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて28.4%増加し、44,650百万円となりました。これは、長期借入金が3,329百万円、リース債務が5,951百万円それぞれ増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて10.1%増加し、471,612百万円となりました。

(純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて9.1%増加し、146,467百万円となりました。これは、資本剰余金が1,670百万円、利益剰余金が4,538百万円それぞれ増加し、自己株式が5,592百万円減少したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年5月10日発表の平成26年3月期の通期連結業績予想に変更はありません。

なお、従来「営業外費用」の区分に表示しておりました「仮払消費税の未控除損失(控除対象外消費税等)」につきましては、第1四半期連結会計期間より「販売費及び一般管理費」の区分に表示する方法に変更いたしました。

25年3月期について組替え後の数値に基づき算出した場合、通期の営業利益の対前期増減率(△7.4%)は11.8%と表示されます。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(表示方法の変更)

従来、控除対象外消費税等については、「仮払消費税の未控除損失」として「営業外費用」の区分において表示しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「仮払消費税の未控除費用」として「販売費及び一般管理費」の区分において表示する方法に変更いたしました。

控除対象外消費税等の費用については、従来は調剤薬局事業の連結全体に占める割合が低く、それにより当該費用の売上高比も相対的に低いため、「営業外費用」の区分に表示しておりました。

しかし、近年、当社グループにおける調剤薬局事業の規模が増大していること、平成26年4月以降に消費税率が段階的に引き上げられる可能性が高いことから、今後、控除対象外消費税等について、より一層金額的重要性が高まるものと見込まれます。また、当該費用を加味した営業利益を用いる方が管理指標として、より有用であると判断したため、第1四半期連結会計期間より「販売費及び一般管理費」の区分において表示する方法に変更いたしました。

この表示方法の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間の四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、表示組替えを行う前と比べ、前第3四半期連結累計期間の営業利益が2,105百万円減少しております。なお、経常利益、四半期純利益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	41,119	32,460
受取手形及び売掛金	263,136	296,712
有価証券	502	502
商品及び製品	72,356	87,302
その他	33,729	36,558
貸倒引当金	△557	△838
流動資産合計	410,286	452,696
固定資産		
有形固定資産	70,710	85,871
無形固定資産		
のれん	12,660	10,942
その他	3,026	3,264
無形固定資産合計	15,686	14,206
投資その他の資産		
その他	67,966	66,981
貸倒引当金	△1,981	△1,674
投資その他の資産合計	65,985	65,306
固定資産合計	152,382	165,383
資産合計	562,668	618,080

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	363,606	404,411
短期借入金	9,884	9,610
1年内償還予定の社債	10	—
未払法人税等	6,465	1,292
賞与引当金	3,636	1,767
役員賞与引当金	105	66
返品調整引当金	299	310
その他	9,604	9,502
流動負債合計	393,611	426,962
固定負債		
長期借入金	10,474	13,803
退職給付引当金	2,074	1,541
資産除去債務	879	1,044
負ののれん	1,177	618
その他	20,178	27,642
固定負債合計	34,785	44,650
負債合計	428,396	471,612
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,649	10,649
資本剰余金	46,144	47,814
利益剰余金	78,100	82,639
自己株式	△9,030	△3,437
株主資本合計	125,864	137,666
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,716	13,091
土地再評価差額金	△4,308	△4,308
その他の包括利益累計額合計	8,407	8,782
新株予約権	—	18
純資産合計	134,272	146,467
負債純資産合計	562,668	618,080

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	862,368	898,889
売上原価	787,169	819,305
売上総利益	75,199	79,584
販売費及び一般管理費		
役員報酬及び給料手当	34,774	35,469
賞与引当金繰入額	1,735	2,017
役員賞与引当金繰入額	74	81
退職給付引当金繰入額	208	170
福利厚生費	5,696	5,879
車両費	1,157	1,196
貸倒引当金繰入額	△105	△102
減価償却費	2,138	2,495
のれん償却額	1,805	1,789
賃借料	5,302	5,277
租税公課	879	888
仮払消費税の未控除費用	2,105	2,303
その他	10,886	11,684
販売費及び一般管理費合計	66,659	69,152
営業利益	8,539	10,432
営業外収益		
受取利息	94	56
受取配当金	1,006	1,026
受取手数料	2,142	2,244
負ののれん償却額	689	582
持分法による投資利益	54	59
その他	1,076	1,607
営業外収益合計	5,063	5,576
営業外費用		
支払利息	297	311
不動産賃貸費用	—	400
その他	253	193
営業外費用合計	551	905
経常利益	13,051	15,102

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
特別利益		
固定資産売却益	274	351
投資有価証券償還益	258	—
その他	246	31
特別利益合計	779	383
特別損失		
固定資産処分損	132	264
その他	35	15
特別損失合計	167	279
税金等調整前四半期純利益	13,663	15,206
法人税、住民税及び事業税	5,486	4,899
法人税等調整額	323	1,172
法人税等合計	5,810	6,072
少数株主損益調整前四半期純利益	7,852	9,134
四半期純利益	7,852	9,134

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,852	9,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	705	374
持分法適用会社に対する持分相当額	9	0
その他の包括利益合計	715	374
四半期包括利益	8,567	9,508
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,567	9,508
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	801,427	59,900	270	769	862,368	—	862,368
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	29,133	13	—	196	29,343	△29,343	—
計	830,561	59,913	270	966	891,712	△29,343	862,368
セグメント利益又は損失(△)	7,646	928	105	△41	8,639	△99	8,539

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (4) 追加情報(表示方法の変更)」に記載の通り、従来、控除対象外消費税等については、「仮払消費税の未控除損失」として「営業外費用」の区分において表示しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、「仮払消費税の未控除費用」として「販売費及び一般管理費」の区分において表示する方法に変更いたしました。
当該表示方法の変更を反映させるため、セグメント利益又は損失は上記の組替えを行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント					調整額 (百万円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (百万円) (注2)
	医薬品 卸売事業 (百万円)	調剤薬局 事業 (百万円)	治験施設 支援事業 (百万円)	情報機器 販売事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高							
(1) 外部顧客に対する 売上高	833,486	64,199	389	813	898,889	—	898,889
(2) セグメント間の 内部売上高又は振替高	31,292	15	—	242	31,549	△31,549	—
計	864,778	64,214	389	1,055	930,439	△31,549	898,889
セグメント利益又は損失(△)	9,269	1,032	235	△17	10,519	△87	10,432

(注) 1. 調整額は、内部取引の消去と未実現利益の消去によるものであります。

2. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。